

まちや施設に関する皆さんの声 ～インタビュー結果から～

～福山（下場）のまちについて～

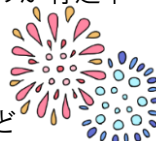
○桜島・錦江湾の景観がすばらしい （“すばらしい”を生かす）

- ・ 桜島・錦江湾の景観、若尊鼻の見晴らし。
- ・ 昔と変わらない風景。
- ・ 市外の知人から別荘地のように言われた。
- ・ 車を停めて夕日を撮影する人たちをよく見かける。
- ・ 海浜公園、夕日ヶ丘団地や鉄道公園からの桜島の景観、中茶屋公園からの夕日（ダイヤモンド桜島）、イルカの群れ。



○歴史のあるまち（まちの歴史を生かす）

- ・ 昔ながらの屋敷の面影がある。
- ・ 静かなまちで何も無いが、空気がいいし景色もいい。Uターン後に田中省三や地域の歴史を学んでいいところであると実感した。
- ・ 福山は海運のまちで薩摩藩政で重要な役割を担ってきた。寒天の密貿易のための輸送の拠点だった。
- ・ 福山の風土と気候を活かし黒酢の製法を開発したのが竹之下松兵衛といわれている。



○昔の賑わい、まつり、イベント（昔のような活気を）

- ・ 昔は人が多く、呉服店・駄菓子屋、ラーメン屋など様々なお店があった。旧田中家別邸の前には店が並んでいた。
- ・ 石垣のアーチ水汲み場でスイカを冷やしていた。
- ・ 港まつりは3地区合同の大きなイベントだった。花火を上げ、トラックで舞台を作り、出店もあった。
- ・ 昔は防波堤が無く、海で泳いでいた。子どもも多かった。

○空き家が増えているのでその対策を

- ・ 娘は「老人と猫のまち」と言っている。
- ・ 空家が増え、危険な建物になっている。盆などに帰省し修繕や掃除をしている人もいる。
- ・ 猪が頻繁に畑を荒らし問題になっている。
- ・ 景観が良いので、別荘地としての需要があるのではないかと。空き家が多いので、リノベーションして使用できるようにしては。
- ・ 所有者と移住希望者をつなぐ機能、移住者の受け入れ態勢が必要。



○人口減少なりに対策を

- ・ 大廻では自治会役員の担い手がいないので、4自治会を1つに合併する話を進めている。
- ・ わからない。逆に教えて欲しい。人口減少がすごいので、望みが無いのでは。変えていくにはリーダーになれる人が必要。

○不便なまち（不便なまちを“便利”に）

- ・ 店が少なく不便。国分方面に通院・買い物に行きたいが交通の便が悪い。また、駐車場がない。



○子ども達のイベント、子どもと接する機会 （“子供と一緒に”を増やす）

- ・ 子どもが減った・近くにいない。子どもの声をきかない。
- ・ 子どもがいるときは近所付き合いがあったが、子どもがいなくなると関係も遠のいている。
- ・ 昔は七夕まつり、焼肉会などがあったが今はやっていない。
- ・ 旧福山小グラウンドで盆踊り大会をやった（ジュースや綿菓子を格安で販売）。こども達は喜んだが準備・運営はきつかった。
- ・ 小廻では毎年8月に夏祭を行う。

○いろんなグループ・団体が活動。同窓生の絆の強み （グループや団体、同窓生の絆を活用する）

- ・ 公民館などでカラオケを楽しむ趣味会がある。
- ・ いくつかのグループが日替わりで運動場を利用しグラウンドゴルフを行っている。
- ・ 地域資源を活かした活動。エコミュージアム福山、オーシャンビューガーデンクラブなど。
- ・ 栽培・無人販売を行う園芸クラブがある。
- ・ 同級生・同窓生の絆が強い。わかみこ会。
- ・ 明るく優しい人が多い。



○他の団体・グループ・自治会・地区との交流は少ない （横のつながりを強化する）

- ・ 他の地区（小廻・中央）に行くことはほとんどない。
- ・ グラウンドゴルフを行うグループはほとんどが年配者。他のグループと一緒にプレイすることは基本的にはない。

○地域の資源を見直す・有効に活用

- ・ 福山は黒酢発祥の地。黒酢を製造した先人を称えていくことが地域にとっても大事なのでは。
- ・ みかん農家は直販だったり、ふくふくふれあい館へ卸す。無人販売も多い。
- ・ 以前はみかんのオーナー制度があった。山はオレンジ色でキレイだった。
- ・ 黒酢ブリ、岩ガキを養殖。黒酢ブリは国内外に出荷されている。
- ・ 地域で取れた魚やみかんなどを販売する場所がない。
- ・ 15年ほど前から開催する漁師市は、担い手が少なくなった。当初はとても盛り上がったが、最近はお客さんも減っている。

～身近な施設の思い出、今後の活用について～

○旧田中家別邸

- ・ 昔は結婚式や職場の飲み会、PTAの送別会にも使っていた。「初泳ぎ」の後、風呂に入った思い出がある。
- ・ 子どもの行事などで通う機会があったが最近に行く用事もない。
- ・ 以前は同窓会でも利用していたが、規制が厳しいので利用しなくなった。
- ・ 見せるだけではもったいない。人が集まれる施設として利用されればよい。例えば「古民家カフェ」や「花見会場」、「重富荘のような洋食レストラン」。福山の産物を生かしたメニュー、「ワンコイン料理」などを提供。
- ・ 洋風にした方が面白い。高齢者が多いので椅子を使う方がよい。温泉を持ってきては？ 寺子屋のような、子供たちが勉強ができる場所。



○旧福山幼稚園・中央地区多目的広場

- ・ 幼稚園が地域の方々の憩いの場になればいいと思う。
- ・ 地区の公民館、歴史館、郷土資料館として利用してはどうか。
- ・ 中央地区多目的広場を使ってキャンプ場。旧幼稚園に店舗をいれてもいい。
- ・ 広場を地域の人が集まり楽しめる場所にする。



○福山公民館分館

- ・ 耐震性が無いというが、補強して利用できないか。
- ・ 1階を「消防団車庫・詰所」にして、2・3階を「憩いの場」または「避難所」として利用。



○地域のためになるような使い方（誰もが使える場所 など）

- ・ みんなで集まったり遊んだりできる場（図書館や広い芝公園・キャンプ場・居酒屋）。
- ・ 寺子屋のような、勉強ができる場所。
- ・ こどもからお年寄りまで、学んだり習い事ができる場。
- ・ 公民館が閉鎖的。いつも開いていれば、いろんな人が訪れやすい。お店を併設すればなお集まる。片付けは自分達で行うなどルール化すればよい。

～今後のまちへの提案～

○いまの福山のいい雰囲気を保ちながらの活性化を望む

- ・ 環境としては申し分ない。この環境を壊してほしくない。
- ・ 今の福山のいい雰囲気を保ちながらの活性化を望む。

○子供たちが元気に育つ環境が大事

- ・ 福山小と合同で実施する運動会には参加する。昔は場所取りが大変なくらい盛り上がった。
- ・ パトロール隊に参加しているおばあちゃんが「成人した子にお礼を言われた」と喜んでた。
- ・ スクールガードをやっていて、元気に挨拶してくれる。
- ・ 子どもたちが帰ってきてくれるような環境が必要。



○公共交通はじめ移動の利便性向上

- ・ バスの便が少ない。免許返納後が問題。
- ・ 家がバス停から離れている高齢者はみていて大変そう。

○地域を盛り上げるプロジェクトが大事。楽しいとすることが大事

- ・ プロジェクトチームを組んでまた港まつりをやりたいとも思うが、そういう人さえいなくなった。
- ・ みかん農家などが、収穫物を販売できる場所を作れると良いのではないかと。
- ・ ボランティアだけではだめ。利益を上げられる施設にしないと活性化はできない。
- ・ 住んでいる人が楽しいと感じることが大事。

～番外編～ まちを訪れる人たち（釣り客など）の声

～景色や環境が素晴らしい。釣り場として最高。あえていうなら休憩できる場所・食事処などか～

- ・ 桜島の眺め、景色・景観が素晴らしい。釣り場がきれいで、大きな魚が釣れる。
- ・ 波が静か。トイレも設置されており子どもも安心して連れて来れる。
- ・ 釣り場として環境が良いだけでなく、たまにイルカの群れを見ることもできる。
- ・ この環境を維持できるよう、いつも掃除をして帰るようにしている。
- ・ 近くに食堂が無いのが残念。魚食堂などがあれば。
- ・ 木陰で休憩できるといい。売店やカフェ、オートキャンプ場のような使い方も。
- ・ 地元産の魚を売る物産館のようなもの。

